

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 29 年 10 月 5 日 (2017.10.5)

【公表番号】特表 2016-534591(P2016-534591A)  
 【公表日】平成 28 年 11 月 4 日 (2016.11.4)  
 【年通号数】公開・登録公報 2016-062  
 【出願番号】特願 2016-516834(P2016-516834)  
 【国際特許分類】

H 0 4 J 11/00 (2006.01)

H 0 4 W 72/04 (2009.01)

H 0 4 W 72/08 (2009.01)

【F I】

H 0 4 J 11/00 Z

H 0 4 W 72/04 1 3 2

H 0 4 W 72/08

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 8 月 24 日 (2017.8.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

送信機におけるワイヤレス通信の方法であって、

前記送信機において、複数のサブチャネル上でそれぞれ送信する複数の近接送信機の各々の送信電力を決定することと、

前記送信機から前記複数のサブチャネル上でそれぞれ送信する前記複数の近接送信機の各々までの経路損失を検出することと、

を備え、

前記複数のサブチャネルの各々についてアウテージ領域サイズを推定することと、ここにおいて、サブチャネルについて前記アウテージ領域サイズを前記推定することは、前記サブチャネル上で送信する近接送信機の決定された送信電力と、前記近接送信機までの前記検出された経路損失とに基づく、

前記送信機から信号を送信するための前記複数のサブチャネルのうちの 1 つを選択することと、ここにおいて、前記選択することは、前記複数のサブチャネルの各々の前記推定されたアウテージ領域サイズに基づく、

を特徴とする、方法。

【請求項 2】

前記送信電力を前記決定することは、

インバンドエミッション (I B E) 電力、または

前記サブチャネル上の意図された送信信号の送信電力

のうちの少なくとも 1 つを決定することを備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記複数のサブチャネル上でそれぞれ送信する前記複数の近接送信機の各々についての前記 I B E 電力は、近接送信機の I B E のモデル、および / またはそれぞれのサブチャネル上の前記意図された送信信号の前記近接送信機の前記送信電力の決定に基づいて決定される、請求項 2 に記載の方法。

## 【請求項 4】

前記複数のサブチャネルのうちの前記 1 つは、最も小さい推定されたアウテージ領域サイズを有する前記サブチャネルに基づいて選択される、請求項 1 に記載の方法。

## 【請求項 5】

アウテージ領域は、前記送信機からの前記信号の意図された受信機がしきい値よりも小さい信号対干渉プラス雑音比 (S I N R) を経験する地理的エリアを備える、請求項 1 に記載の方法。

## 【請求項 6】

前記サブチャネル上で送信する前記近接送信機の前記決定された送信電力は、前記サブチャネルについての前記アウテージ領域サイズを示す、請求項 1 に記載の方法。

## 【請求項 7】

前記サブチャネル上で送信する前記近接送信機までの前記検出された経路損失は、前記サブチャネルについての前記アウテージ領域サイズを示す、請求項 1 に記載の方法。

## 【請求項 8】

請求項 1 に記載の方法を実行するための手段を備えた、ワイヤレス通信のための送信機

## 【請求項 9】

プロセッサによって実行されると、請求項 1 に記載の方法を実行する、送信機におけるワイヤレス通信のためのコンピュータ実行可能コードを記憶するコンピュータ可読媒体。